

2004年6月5日発行

あんふぁんて



2004年6・7月 合併号

Enfanter ● No.296

あんふぁんて

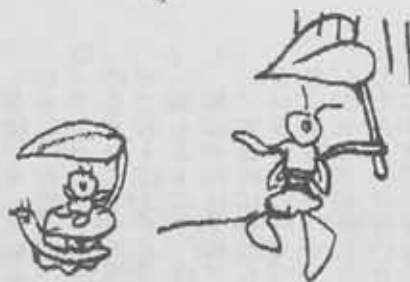
Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出す、の意

ことば
イラスト
西 岸



私は甲斐で
あかんべー
やっほー
うふうふ
と書いた
これ私の
あんふぁんて



特集 座談会

あんふぁんての30周年とこれから

- ・あんふぁんてグループリスト (改定ページ)
- ・「ミニ特集」 性教育バッシングから見えるもの
- ・あんふぁんてからあんふぁんてへ&情報コーナー

P2

P9

P11

P15

ころが(スタッフの立場が)OB的になつちやうというところもどう捉えるかよ。じゃあメインを変更して、会員数を増やせるかというところもあるわけよ。

A 何をキーワードにするか? 私たち(子どもが思春期以降)の年代でも子育ての支援がほしいと思うよ。大きくはなつたけれど、自立できない、引きこもり、親との関係。自分の育った道筋とはあまりにも違い、自分が親にしてみたらしたことやっても、子どもが離れず自立しない。

C 子どものイメージが私の中では小さいけど、今は三十代までが子どもなのね。その意味では、子育てが終わってない人がいっぱいいる。

D 子育て、というテーマは、いつだってあんふぁんての活動の核になつていて。平和の問題だって、子育ての縦軸に入っている。

C あんふぁんての30年では、洗剤の問題もやつたし、食事の問題もやつた。あんふぁんてでは、あなたがやってくれたことは私もやってのこと。そして「預け合い」というメインの活動があつたわけじゃない? そのメインが崩れてるのよ。生き残って行く道を探すために、自分たちのやりたいことを変えていくというのは...私たちが何をしたいのか?、まずないよね。もともと採算があつたわけじゃない。自分たちがこれやりたいというものがあれば、経済的なことはなんとかなるのよ。

E (メインの活動は)「預け合い」よりも今の私にとっては、「自分らしく生きる」とこと。もちろん、入会当初はグループ作って

預け合いしたけど、その人たちと今は、「自分らしく」でつながっている。自分が「なへな」になるときも、あんふぁんては、「やらなきゃ」と元気にもしてくる。

D 子どものこと、自分らしく、2本あるよね。

E 別個になつてなくて、子どものことも自分らしくも、私にとっては「つながり」を出したりしたら「自分らしく生きる生き方を教えてくださう」と、またハウツーを求められるのでは。(笑)

F 自分らしく生きていく人がいることが、ハウツーなのよ。

B カルチャー講座・本などあると思うけど、それを継続的にグループとして持つ。

G 女たちのグループって、PTAとか組合とか抜きで、(異業種間交流)政治的にもなんでもなく...というものが、ないのよ。主婦とかって、そういう場はないから。

D 継続すること、つながる事を選んでいく関係はあるよね。

E 今現在も子育てをやっている、「わかんない・困っちゃう」という人いるのかな? いまね。昔より情報源として電話とか、たくさん相談の場があるから。

B 今の人はすぐに答えがほしいから。

D 先生がお答えします、というのではなくて、みんなのぐちゃぐちゃした気持ちを聞きたいとか、そういう人はいると思う。

F 自分の生活は自分にとってのすべてだけれど、その夫婦ごとに違うものもある。その違い、同じ様な生活なのに他の人はど

んな風にしていくのかなって、あんふぁんてでは、見えてくる。PTAなどでは見えてこない。「自分はこれでいい」「もう少ししたらいい」「こうしなければ」と思っていたけど、あの人は違うのね」と、あんふぁんてでは感じることが出来る。

D ハウツーは出てこないけど、隙間から見えてくるものをつかむ。

A 違っている。答えなんかはないということ、検証する場がない。あの人はこうだけど、うちはこうじゃないけど、やってみたらできるかな?それを自分で決められる。あんふぁんては「答えがなくていい」けど、私たちは30年間やってきたからそうだけれど、「答えがなくていい」なんて、世間一般では、考えられないことだね。

◎いまだきの若者とあんふぁんて二世

F 今の人は「わかんないんだけど」と聞くことすらできない。だからなにか問い掛けるときに必ず答えがないという、そういう状況らしいですよ。

C うちの会社は今出産ブームなのね。でもみんな、育児の事で直接聞かなくても、困ったその次の日には、答えがわかっていて、みんなネットだね。

F 「わかんない」と言わない。教室の雰囲気では「わかんない」と言えなくて、わからない人は家で調べる。そんな、学校生活の教育で染みついてしまった。

D なんだらう、というのはあるんだけど。会報では盗撮のこと、セックスストレスのことが言えたり、「たまひよ」では出せないこと

特集 座談会



30周年とこれから

あんふぁんて30周年記念イベントの相談会を何度かしている中で「30周年イベントをやることはいいけれど、会員の減少、赤字運営は相変わらずだし、会報作りやイベントを催してくれる会員のスタッフも居なくて、ずっとこういう状況が続くようであれば、あんふぁんてを続けていくことはとても難しい。」というのを聞いた。しかしそれって、昨年の交流会で赤字について話し合い、解決されたことではないのか...

昨年の交流会では、会報を完全な隔月発行にし、そして、会員の年齢などもメインのターゲットを、小さい子を抱えた母親から、子どもの年齢が大きい、老親を抱えた層に合わせ、その人たちの興味のある会報作りをして行こうと決めた。なのに何故? その訳は会報を隔月発行にしても赤字の金額が少し減っただけで、あと一年もすると今までの蓄えたお金がゼロになるそう。それと、事務局のスタッフが居ないそう。その二つの問題が解決されていないこと。川崎さんが会報のまとめやイベントなどの主体になつてしまいが、自分の子どもの年齢が大きいこともあり、赤ん坊を抱えた層の会員とのずれを感じ

たり、また、老親を抱えその世話をしなければならず時間的に余裕がなくなり、事務局に毎日通うことが難しくなつたそう。

あんふぁんては会員一人ひとりの活動で運営されていくのが原則だけれど、ほとんどの会員は、子どもの年齢が上がって、仕事をしたり、忙しく行動しているから、スタッフのなり手が居ないのである。

あんふぁんての30周年のイベントを行い、31年目に向かってこれから進んで行くには、その問題をクリアしないと、次の段階へは進めないことにイベントスタッフは気づいた。そこで、あんふぁんての存続も含めて「30周年のあんふぁんてについてどう思うか、どう関わる?」どうなるこれからか、あんふぁんて?」などのテーマで座談会を開き話し合った。その座談会を会報の特集にまとめ、会員の皆さんに報告することにした。当日参加できないスタッフには文章を寄せてもらった。座談会は、二月十五日午後一時より、幾代さん宅。当日の出席者は七名(幾代、井上、川崎、古知、関場、福野、安原)。記録は関場さん、まとめは福野が担当。

割が)めぐって行けばいいのかな。「子育て」の本音はみんな苦しんでいると思うし、ホントのことが言えない、言う場が無いっていうのはあるんじゃないかと思うんだけどね。

B 最近の人って、本音を言う場がないって言ったけど、「グループはハウツーをくれるもの」と思っている。本音を話そうとしない、様子を見ている。私は「お助けマン」にはなれない。私の子どもたちは大きくなってしま、小さな子を抱えた若い母親といっしょにやっていきましようっていうこともギャップを感じてできなくなった。

A 知らぬうちにずれてきた。

C 最初からずれてきた。「子育て」にかかわったり、会を存続するとして、ハウツーを出すか、子育て支援グループみたいな形で、伝わる・伝わらないは期待しないで、できることを伝える。基本的に、ハウツーも支援グループもあんふぁんてのやることじゃないと思ってる。

D アドバイザーとか、政府の言うようなものじゃなくて、対等なおばさんとしてごちやごちや伝えるような支援グループなの、「あんふぁんて」は。

C 私はそれは支援グループとは思っていない。客観的に見たら「支援」じゃない。そういう形をいつづけることによつて、趣旨は変質していく。だからもしかしたらあんふぁんてを閉じる方がいいのかな。変質したからいけないということではない。ただ「子育て・妊娠」という、一番メインのところを変質させてはね。そのメインのと

- このおうちの人が、わざわざうちまで送り届けてくれるんだけど、それも負担になる。どうして、一人で帰るようになって、言っている、送り出してくれないんだらう。
- D 事故があったら、思うんだらうね。
- C 地域がなくなると、この子はどこの子なのか、わからない。昔だったら全員知っていたよね。子どものことだけでなく、家庭のことすらわからない。
- E 幼稚園に行っていたとき、子ども同士で帰宅後の約束をする。それで親も一緒に茶のみする。だけど今日はうちで呼ばなくちゃとか、呼ばないというときは、子どもにお約束するのはやめてといったり、親とコミュニケーションが合わない、子どもに「約束はやめて」とか指示してしまったり。
- F 親同士の関係がないと、子ども同士も遊ばない。近所にいるけど、親同士の接点が取れないと、話題が続かないし。
- ◎これからのあんふぁんて
- E あんふぁんての今後はどうしたらいいのかわからない。どうするにしても、メインの趣旨は形を変えず大事にして伝えたい。
- D 自分がやりたいことに「あんふぁんて」を巻き込んでおもう「分断」ではなくて、つしよにやれることをみんなで探そう！
- C 今後のことを決めず、あいまのままやるとしたら、メッセージを送って誰かが入ってくれたら、その人に申し訳ない。
- A 「迷ってます、あんふぁんて」「どうなる、あんふぁんて」「人間標本館 あんふ



■座談会を終えて■

あんふぁんての会報誌を読むと、いつも赤字、スタッフ募集！という、メッセージが目に入る。ホント三十年間変わっていない。あんふぁんてが出来た頃は、預け合いグループの活動が盛んで、会報も「情報誌」と呼び、各地のグループのイベントや報告などが載っていた。いつの頃から、預け合いグループが減り、会報誌と呼び方が変わってきたのである。座談会で話されていたように「あんふぁんては、いろんな人がいて、いろんな選択肢があって、何でも言っている、答えがなくていい」なんて、私はすごいホッとしたけれど、一方で、いろんな年齢層の幅がありすぎて、いろんな選択肢がありすぎて、会としてまとめることが難しいの、とも思われる。

しかし、あんふぁんては答えがなくいい会なのである。あんふぁんての趣旨を忘れず、それでいて年齢の広がった会の、これからのあり方を模索することはできると思う。いえ、できるようにしたい。あんふぁんてを続けていきたいのであれば、みんなを会を運営していく、スタッフの問題をクリアできれば、存続していくことはできると思うのだが……

私はあんふぁんての「自分らしく生きよう」という趣旨に賛同して入会をしたけれど、旧事務局の大山さんから「あんふぁんてって、自分がやるのよ、誰もやってくれないのよ！」という言葉に戸惑いながらもここまで来た。主婦という言葉から精神的に開放された。三十年たった今でも、開放されたいと願う女性（男性もいると思う）はまだ多いと思う。

(福野)

- の分断。言葉じゃなくて、いつしよに時間を過ごすとか、いつしよにやれないと。
- F 「一箇所だけ先に行っちゃってるみたいなの。」「いつまでお金出してくれるの？」と子どもに言われて、はて、いつまで出すの？とか。（自分のこと）そういうのもやもやを心置きなく言って、うちはこうだのあーだのって言うてくればいいのね。
- F 「あんふぁんては言っていないんだよ」っていわれても、それが理解できない。それを言うことは劣等感になると決まっちゃうっているわけじゃないの。
- C そういうチャンスと場があったときに、ああ、あんなことを言ってもいいの、と。
- E 言うといいのに、その場では出さないね。すぐには出さない。あんふぁんてに入会するときも、見てすぐに連絡する人と、切り抜きを丁寧につけて持ってきて探っている人……
- A 入会してみたら、新人に「あなたどう？」と聞いてくれないから、ここは自分で言わなきゃいけない場所なんだな、とわかった。
- C 昔は、今思えばランボーだったよね。「それは自分でやるのがあんふぁんてだから」と返事したりした。でもそう伝えると相手も、「あ、そう」と考える、共通土台があった。
- F トライアルの最初もそうだったんだよね。いろんなところで同じことやっていて話しかけて、そこはそこで広がってゆく。
- A 「売り」として、預け合い・子育て支援では、来ないというならもう飽和状態ではないか。私の年代は、親子間の断絶（自分

- の親と、自分の子どものこと）に興味ある。
- E この間の交流会で「もう私たちの（年代）が興味をもっている」話をしよう」ということになった。そういつた会報を作って行くというにはなっている。
- B 今、交流会で決まったことで、二号分（会報）やっている。
- A そうした年齢の人へのPRをしないと。重いという受けとめ方。重いよ。そう感じられるものに対しての、広げてつなげていくために、コミュニケーションを最初からやらなければならぬのは、やだな。重いつて思う人は、今に満足している人かもしれないね。
- E ある程度のお年（子育てが一段落した）の人って、他にやる場があるから難しい（満足して、あんふぁんてに来ない）。
- F 自己主張したら重い自己責任がついてくる。軽いほうがいい。
- C バイトで結構です、っていうんだよね。ほんとによく働いているので、社員になるかって言ったら、責任をとるのが大変だということじゃなくて、仕事の面白さは責任を取ることで最も面白いのよ。
- F 今の仕事って自分の時間と体力の切り売りだから。やりたいことは別にあつて、それをやるために時間と体力をためる。
- C 自分で仕事を面白くすることはできるんだ。最初から面白く仕事なんてないんだ。自分で面白くなくしている。
- D 私の今の仕事は、プロではないんだけど、入れ込んでやっている。同僚と意見を話しあつて、こうしたらこうなったね、面白い

- ねと成果を確認しながらやっている。それを、新しく入ってくるパートの主婦は、入れ込まないで見ています。
- C それは、ある意味では、仕事をしても損している。
- A 今まではそういうのを育てる余裕があったんだよ。
- ◎選択肢のあるあんふぁんて
- C （親業ってあるよね。）型を破ればいい。
- A 「封建的な親だからいやなので、平場で」とした親だったのに、それがうまくいかなかった。自分自身が親だった歴史を肯定できない。成功とか失敗とか、ある時点で思わされてしまう。
- C 子どもの立場から言うと、親もあんまり揺らいでしまうと、教師にも反面教師にもならないかな……。もしそれじゃなかったら、しょうがない全部自分で決めるしかない、って気になるんだ。
- A あんふぁんてとか、いろんなのを見るといいんだよ。
- C 選択肢が増えることが子どもにとつていいよね。
- A 核家族だと、子どもは親と教員しか大人を見られない。たまたま合えばいいけど、合わない困るじゃん。「ママと違うタイプの大人」「うちではだめなこと、このうちでは良いことがあるんだ」とか、選択肢が広がるじゃない？
- F でも今は、うちの中まで入らせない。一つ一つの家の敷居が高い。うちの子どもがフーリとよその家へ遊びに行くんだけど、そ

あんふぁんて

(改訂ページ)

この頁はグループリスト(2002-2003年版)の最終ページに付けて利用して下さい。

- | | |
|-----------|--------|
| ★=新規追加 | ◆=内容訂正 |
| ①=問い合わせ方法 | ②=活動日時 |
| ③=メンバー数 | ④=活動内容 |

<それぞれの地域で活動中>

【P2】

◆あんふぁんて岡山

連絡窓口未定(旧窓口退会のため)
④問合せなどはあんふぁんて事務局へ。

◆あんふぁんて名古屋

①手紙・電話・FAX・Eメール

◆あんふぁんて浜松

- ②毎月2回位
③会員1名 会員外27名 子ども約60名
④例会・講演会、コンサート、料理教室等親子で楽しめるものや、託児付きの様々な企画があります。その他、会報・相互託児・会員による働くママの会も活動中。子ども中心のおつきあいではなく、あなた自身の仲間をつくり世界を広げませんか。

※2002-2003年版リストP8の【私と一緒にやりませんか?】の呼びかけは、削除願います。

グループリスト

2004年5月現在

【P3】

◆あんふぁんて大田区グループ

- ①手紙・電話・FAX
④活動歴25年になります。定期的な活動はしていませんけれど、毎年新年会には全国に散っていた仲間も上京し、あんふぁんてをステップとして始めたそれぞれの活動を報告、話し合いをしています。

◆東葛あんふぁんて

- ②年2回のペースで定例会
③会員7名 会員外2名 子ども17名(4~14才)
④千葉県東葛方面の会員を中心に集まり、活動歴は9年。子どもも就学前から中学生まで。定例会は気軽に集まり、世間話から少し固い話までワイワイ盛り上がりつつあります。他に交換ノートもやっています。興味のある方、気軽に問い合わせして下さい。

◆ポランの広場

①電話・FAX

◆自主保育の会「どろんこくらぶ」

- ②毎週木曜日 午前10時~12時
④会のホームページを開きました。アドレスは以下。

□ 座談会に寄せて

文京区

子どもは二十三歳になったので、私が会員と会う機会は、託児付きイベントの託児係をするときや、発送作業に参加するとき。そして、個人的に頼まれてベビーシッターをするとき。あとは飲み会くらい。あまり積極的な参加ではない。

しかし現時点で思うのは、これだけ会員の年齢が違っていると、一つの会としてまとまっていくことは難しい。若い会員のイベントへの参加が少ないというところは、「出たい」という魅力が感じられないのだと思う。

現在の形は、一度区切りにした方がよいと思う。事務局があまりに大変である。

新座市

あんふぁんては初めから知っていたので、ふしぎな愛着がある。個人的には、幾代さん、古知さんの魅力。そして、大山さん、川崎さんと歴代事務局を担った人たちのミリオク。二十年過ぎた頃から、「あんふぁんて」で何かやる、やりたいということは、私の中ではうすまった。

子育て期に「必要は発明の母」というカンジで、共同保育やら、社会的問題、教育関連、そして、何か文を書く。それを発信する場としての情報誌の役割は大切でした。でも、今はほとんどが、地域やら、個人的交友の中

あんふぁんては、良いイミで「遊ぶ」ことができる友人と想ったが、最近では、それも地域やら、他の友人とできてしまう。

わすか、情報誌に拙い文を書くことくらいしか、接点が残っている。

とくに、新しいことがなくても、その場がなくなったら、つまらないなあという。あなただけ、ぶら下がり会員の状態。昔の本来の「あんふぁんて」からは、遠い会員になってる現実の私です。

松戸市

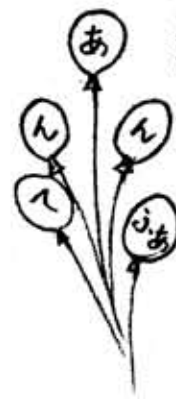
私があんふぁんてに入会したのは、長男が一歳半の頃(現在十七歳)。マンションの公園仲間には言えないもやもやしたものを感ぜていたときでした。「松戸の会員で会いましょう」と意気投合し、初めての会を開いた。初対面から、昔から知っていたように感じ、やっとならで語り合える友に出会ったうれしさに元気がでた。二人目出産後も、あんふぁんてでしゃべれば、エネルギーを充電できた。マンションの息苦しい人間関係も子育ての悩みも乗り越えられた。

もちまわりで会員宅を子連れで出かけ、話し合いを続けていたが、ただのストレスのはけぐちではなく、「ゆつくり、ていねいな関係作り」を心がけた。話の内容をテーマにとり、毎回会報を作った。書くことを通し、ゆつくり読み味わうことによつて、お互いを認め合える関係になっていった。結婚し子どもを育てる中で疑問に思ったことなど、何でも安心して話せ、それを一緒に考えてくれる仲間がありがたかった。

私があんふぁんての預け合いを実践できたのは、子どもが二歳・四歳のとき、二年半生活したニューヨークだった。「あこがれの地に来たのだから、おしやれして、パレエもコンサートもレストランも行きたい。周りの同じ年頃の子を持つ友人の気持ちも同じ。お互いに預け合った。夫も地域に溶け込み、子どもがいるからこそ味わえる喜びがあった。街を歩けば、笑顔で「ビューティフル」と声をかけてくれ、親ばかになった。子どもの友人の家にも招かれたりして地域に暖かく迎えられる。夫婦の生活を大切に、親子でワイワイやれる仲間がいれば、子育ては楽しいを実感した。しかし、帰国して、私は浦島太郎でした。すっかり外国人になってしまし、楽しくなく元気がなくなってしまう。ずっと「何故なのか」考え、やっと日本の社会システムが、ニューヨークと違うということに気がついた。

日本社会に夢を失いつつあるとき、片隅から「松戸あんふぁんて通信」が出てきた。読んでいるうちに、私の原点はここだと思い、再入会をした。

あんふぁんてができてから三十年たつ。三十周年の話し合い、年表作りを通し、会の大切さ、奥深さをしみじみと感じる。自分らしく生き生きと生きたいと、地道に願う女性を応援する会だと思ふ。



●性教育アンケートから
 ・私立の女子校に二人の娘を通して、事前には、宿泊の校外授業の前には、事前に親たちと教師とビデオや資料を含めて意見交換をしたそうです。小学校六年までは下校時に駅前のホームまで教師が児童を送り、校外学習でバスが立ち寄るパーキングエリアのトイレにも女性教師が数人つきそい、防犯対策をとるなど、学校ぐるみで気をつけていたとか。

性教育に関する緊急アンケートや性教育についての座談会へは反応がとて低調でした。ということは、子どもたちばかりか教育や男女差別についてのアブナイ現状は、みんな気になっていないということなの?!とあきれてしまったワタシです。それとも四月というあわただしい時期だったからとか、私ひとりだけが答えなくても誰かがやってくれるかと思ってんじゃないかと、思いきり善意の方向で解釈して、ひとりでミニ特集にまとめました。(古知)

〔ミニ特集〕

性教育バッシングから



見えるもの

●実際の性教育のいくつかの例

●「あたま、あたま、あたまの下には首があって肩がある。肩から腕、ひじ、また腕、手首があって手があるよ。」
 (右と左をくり返す)
 胸にオッパイ、おなかにおへそ、おなかの下がワギナ・ペニスだよ、背中は見えない、背中にはひろい、

う高校生になっていけるので、セックスのことも含めて具体的に教えているし、エイズのこともあるのでコンドームを使うことを教えているそうです。
 ・中一の女の子をもつ方からは、家庭では夫が赤ちゃんがどこから出てくるということまで全部先にしゃべっちゃったとのこと。女は一生の月経の日数分だけ、男より長生きできるとか、バストは男をひきつけるための物、自分の経験から「男性と対等に働く気なら子どもを作るな」とまで自分は話しているとか。
 ・助産婦をやっている方からは、一番の性教育は出産を見ることではないか。夫たちも出産の立ち合いにためらうけれど、見た後は感激し喜びがより大きくなるから。女性が妊娠・出産を通して、特に医療機関との関係に疑問と不安をもち、安心して出産し育児ができる。このことから、女性には差別されていると強く感じる。出産・育児をもっと自分らしくおおらかにできないものか。その為に応援しますとのことでした。

腰があつて、お尻だよ、ふともも、ひざ、すね、足首、かかと、足のうら、つまさき、
 (右と左をくり返す)
 おしまい。
 これはある養護学校の、「こころとからだの学習」のためにつくられたオリジナル曲「からだうた」です。この歌のことを都議会が都教育長は「とても人前で読むことがはばかられるもので……極めて不適切な教材でございませう」と答弁したそうですが、一体どこが!!と思いませんか?
 ・「人間の卵の大きさはどのくらい?」にわたりの卵くらいと思う人?うずらの卵くらいと思う人?イクラの卵くらいと思う人?もつと小さいと思う人?とクイズをしたあと、黒い小さな紙が配られます。実はその紙に針の先でついた小さい穴が一つ空けてあるのです。それを光にかざして皆で見て、「これが卵の大きさ」と教えます。また新生児の大きさ、重さ、やわらかさに似せた人形を子どもたちひとりひとりに抱っこさせたりします。性器のついた人形(これはスーージーとフレッドとして世界二十カ国で性教育に活用されている)には洋服を脱いでもらい、ワギナとペニス、腰の位置を確認させ、そつと二つの人形を合体させ性交の意味も教えます。女性器の中にはへその緒のついた胎児が入っていたりもします。大きなドーナツ状の袋に柔らかいクッションをつめ、その内径は締めたり抜けたりできるようなゆるみをもたせてありますが、それが何を表わ

<テーマを決めて活動中>

【P4】

◆ママネット

(アディクション・ACの問題を抱えたママネット)

①手紙(切手又は郵便小為替300円分を同封して)体験談を希望者に送付。
 ミーティング・入会に関する問合せのみ電話可。

②月一回会報発行。グループミーティングは大阪・愛知・東京にて(メンバー外参加可)

③会員1名 会員外55名

◆ママ友研究会

関場理華

Eメール:

①電話・FAX・Eメール

◆しゃべりBA

活動停止(中心メンバー退会のため)

◆あんふぁんて・

どんな保育がほしい会

【P5】

◆家庭科探検隊

①手紙・電話・FAX

④学校での家庭科の授業に年2回ほど乳幼児親子に参加してもらい、生徒との交流の場をもっている。

◆SAY・性・生

①手紙・電話・FAX・Eメール

◆あんふぁんて・学校を考える会

4月より休会中

【P8】

★あんふぁんて・しにあん

①電話・FAX

②特に決めていないが月一回程度

③5名

④40代後半～50代になると、子どももそれなりに独立したり、親の介護やらつれあいのリタイア等、女のライフステージも変化してきます。そんな時、シルバーになった時の青写真やら互いの趣味やら、共に考え行動してみませんか?

★あんふぁんて平和を創る会

①Eメール

③会員数名

④平和構築を願って、マスコミに出ないネットニュースを中心に、メールで情報交換しているだけ。それも流量は決して多くないですが、ネット環境にある会員はぜひ入会を。

★あんふぁんて・選挙にこう会

①FAX

②必要時不定期

③会員数名

④国会議員選挙、地方自治体知事&議員選挙・区市町村長&議員選挙……、どれも大切、どれも忘れずに選挙に行こう!と活動。

教育はやっぱりそこから始まります。そして、あるがままの自分を受け入れる。肯定することです。もちろん性欲・性器も含めて。結構ここが難しいところです。特に男の子は性衝動をうまくコントロールできずにイライラしたり、無理して仰えこんで劣等感や罪悪感をもったり、ロリコンに走ったり、同性愛に偏見をもったり。どう教えればいいのかの解答を私はもっているわけではないけれど、やはり専門家（前出の「人間と性」教育研究所あたり）に聞くのもいいかもしれません。

●**どのように性教育パッシングがおきたか**
 ●発端は中学生向けに配布されていたパンフレット「思春期のためのラブ&ボディBOOK」（厚生労働省所管の財団法人「母子衛生研究会」作成）に関して二〇〇二年五月二十九日衆議院又教育委員会山谷えり子議員から「セックスをとおし、ピルをすすめている」旨の質問があり、遠山文部科学大臣が「個人の見解だが、中学生にここまでというような気がしないでもない」と答弁したことです。そもそもは厚生省が計画し、「女性健康手帳（仮称）検討委員会」が設置され、二〇〇〇年八月「思春期の性と健康に関するハンドブック」作成について「報告書が提出されました。それに基きB6版三十三頁の当パンフが作成され、二〇〇二年四月二十日付で地方公共団体の母子保健担当及び教育委員会学校保健担当に配布通知をして教育現場に無償配布されたものです。国会質問の翌日、産経新聞（ちなみに質問者の山谷えり子氏は同社の記者であった）が記事で批判し、そこで作成した

母子衛生研究会はより理解してもらおうための追加資料二頁を七月に配布。しかし八月には絶版とし、在庫は回収という措置がとられることになったのです。全国レベルで回収されたわけではないけれど、地方自治体レベルで回収が無難となったようで、全国に広がっていきましました。今では実物もなかなか手に入らない貴重品ですが、二〇〇三年八月の国立女性教育会館主催の「女性学・ジェンダー研究フォーラム」で「思春期のためのラブ&ボディBOOK」読む」というワークショップを開いた時は関心がとても高かったとか。

●その後は二〇〇二年十二月、二〇〇三年二月に産経新聞が七回、二〇〇三年一月には週刊新潮も二回ほど性教育パッシング（攻撃）の記事を掲載しています。それらと連動するように東京都議会でも二〇〇三年二月には古賀俊昭氏が、七月には土屋たかゆき氏が、過激な性教育について発言・質問しています。その時の教育長の答弁が前出の「からだうた」についてのものです。

●その質問の二日後に、土屋都議などが産経新聞記者を伴って、都立七生養護学校へ調査に入り、教材用の人形の服を授業の流れを無視した形で全部を脱がせて並べ、写真に撮りました。翌日の産経新聞には自分たちで脱がせて並べておいて「まるでアダルトショップのよう」とコメントをつけたのです。都議会質問をきっかけとして「都立盲・ろう・養護学校経営調査委員会」が、七月十四日に設置され、八月二十八日に全五十七校のうち二十八校で不適正な実態があったとの報

告がされましたが、不思議なことに夏休み中なのでから授業はあるわけではなく、一体どんな実態なのでしょう。二学期になつての九月十一日、東京都教育委員会は校長らを含む教職員等百十六名の処分を行いました。それらに対して、七生養護学校在校生・保護者の会は教育委員会や都議会議員たちに「子どもたちから『ここからだの授業』を取りあげないで』という、特に知的障害をもつ子どもたちには性教育授業が大切なことを訴えた要請書を提出し、また三〇〇人以上の申立人のもとに人権救済の申立てをしたとことです。

●**ことは特異的な「ジェンダーフリー」パッシングも同じ流れ**
 ●性教育の第一歩は自分の体を知ること。受精から妊娠・出産、命のしくみを知ることから、男女の生物学的な違いを理解し、その上で社会的・文化的な性の違い、差別に気づくことができると。その社会的・文化的な男女の性差を「ジェンダー」といい、身体的な性差をさす「セックス」とは区別して使われるようになりまし。そのジェンダーへの偏見を「ジェンダーバイアス」といい、その偏見や差別を解消しようとするのを「ジェンダ



すかわかりますか？ 産道です。そこを通過して出てくると、「ハイ、おめでと〜」と皆で誕生を祝います。これらが「命の性教育」。（講座や講師の派遣等は「人間と性」教育研究所、03(3945)0793、HPは<http://seikyoken.org>）

●一九九二年の指導要領の改定によって、小学五年の保健に「月経・射精」、理科に「ヒトの誕生」が登場したものの、教科書の記述は「尿の出るところの近くから血が出る」「精子は女性の体の中で卵子と出会って受精する」などと、性器や性交には触れないなど、余りに非科学的なものでした。学習指導要領では「人は母体内で成長して生まれること」はあげられているのですが、「なお、ここでは卵と精子が母体内でどのように出会って結合し、生命が誕生する」という受精に至る過程については扱わないこととする」と避けてしまっています。なんと中途半端なノ純粋に生物のしくみへの疑問としても子どもたちは知りたいのではないのか。生命に関する事実を科学的に理解することで、自らの生命を愛し、自己肯定感を高くすることもできてくるはず。簡単にグループで自殺したり、殺したりする風潮への歯止めとしても、生命の大切さを百万回となえるよりも、具体的な形にしていかなければと思います。

●大部以前のTVドラマ「金八先生」では、金八先生が墮胎用のソウハ器具の実物を生徒たちに見せて「これで、大きく広げてかき出すんだぞ。」とやってみせるシーンがあったそうです。かなりショッキングだとは思いますが、それくらいインパクトがあれば、少

なくとも避妊への効果はあるのではないのでしょうか。これも立派な中学生向けの性教育になるはず。

●**子どもたちへの危険はいっぱい**
 ●いつのまにか自動回転ドアや児童遊具のニュースがあふれ、メーカーが追及されたり撤去されたりして一件落着。ちょっと前にはロリコンお兄さん、おじさん、小六少年の殺人や監禁、盗撮などの事件が多発して、その手の性犯罪や風潮に関心が高まっていたのに。ニュースや騒ぎに振り回されていた世間の一般の私たちのせいでもありません。あの神戸の少年事件の犯人がもう出所してきているのに、その間学校・教育界、社会からは何もめぼしい対策・分析・研究・方針が出されることなく出所にオロオロしているだけ。その場限りなのはいつものことだけれど、だからくり返すことになるのはまっぴら。

●NHKテレビで子どもたちを守る動きをやっていた。防犯ブザーを配ったのは中野区など。社会科で危険な場所マップを子どもたちに作らせたり、父母たちがそのマップを点検して歩いて、ナルホドと気づかされたり。



ICAP (Child Assault Prevention: 子どもへの暴行防止) などのグループが、知らない人からの護身術や大声の出方を教えるワークショップ風な授業や講座もあります。福岡県には子どもの下校や塾の送迎を専門にする警備会社もあるとか。でも普通は「二月七日(日)午後五時ごろ、尾久銀座商店街トミエストア一階の路上で、低学年児童が、不審な男性(四十歳位・中肉中背)に出会うということがあるらしい。(略)一人で遊ばない、(一人で行動しない)、知らない人には絶対についていけない、連れて行かれそうになったら大声で助けを求め、暗くなつてから子どもだけの外出はしない。上記のような事犯がありましたら、ためわらず警察へ連絡をしてください。」この程度のビラを校長名で出しているくらいです。

●これらの事件はどうして起こるんだろうかと座談会でも話し合いました。その土台に携帯電話の普及など情報量の急激な増大化があると思います。親の目を盗んでのテレクラやQ2へのアクセスも容易で、パンティを脱いでアダルトショップへ売る女子生徒や、その彼女らに声をかけて援助交際するものも、すべて携帯電話。この文明の利器を使いこなすルールも道徳もでき上がらないうちに広まってしまったのですから、まるでお手上げです。

●感染症やエイズから守るためにも、思春期の性教育も急がねばなりません。まずは自分を大事にすることを教えたい。それには自分の体を大事にすることが基本です。そのためには自分の体を知ることが必要ですから、性

人付き合いがプレッシャー
四月に入り、親も子も新しい人間関係を作らねば...とのプレッシャーから、毎日グッタリしています。「誰かに声を掛けなきゃ」と思ったり、「誰に声掛ければいいの?」と迷ったり。四月に入塾した長女にも「誰か仲良し出来た?」と連日質問して、かえってプレッシャーをあてています。

四月に小学校に入塾した長女。私と同じに内気で友達作りも上手じゃない長女。幼稚園の時には私が人付き合いが苦手なため、クラスのママの誰にも声を掛けず、誰も家に呼ばず、誰からも誘われず...という過ごし方をしています。公園へ行っても約束した友達同士で遊んでいるクラスの子から、約束していないからあっち行って、みたいなことを何度か言われて、落ち込んでいた長女です。やはり、幼稚園や小学校の低学年の時は、親も努力しないと難しいのでしょうか?

私自身、毎日のお迎えの時、懇談会の時、楽しい話に話しているママ達を見ると少しさびしい気がします。「孤独だな」なんて一人つぶやいたりしてしまいます。でも、苦手な

あんふぁんて
から
あんふぁんてへ



人付き合いって、努力でどうにかなるのかな? チョット疑問です。

去年は次女が入塾したので、私なりに一応の努力はしてみたのですが、あまり努力が報われたような気はしません。次女のクラスの子どもを家に呼んでも、呼ばれない。誘っても誘われない。これって努力より、私の人間的魅力が不足しているためじゃないかしら? なんて思う今日この頃です。

振り込み用紙のお便りから
大阪市
実は、今期で退会しようと考えていました。が、295号(四・五月号)でお名前を存じている方々の投稿を拝見し、久々にゆっくり読みました。いつも半年分ですみませんが、振り返ります。

けれど、会はずろろ解散、又は会報をとり止めてもいいのかもしれないと、十年ぼっちの会員である私が意見するのもおこがましいですが、そう思います。会報あと四号で299号、五号で300号、で30周年。会員増よりも、これまで深くかわわってこられた方々の一番納得のいける方向で、軌道修正していいと思うんです。

「選挙にいいこう会」から
小平市
忘れないでね、次の参院選挙は七月十一日(日)です。昨日のニュースでも、某スキンヘッドの有名歌手とともに氣勢を上げていた復活を狙う元国会議員の姿を見て、ゾッとしました。

人付き合いって、努力でどうにかなるのかな? チョット疑問です。

去年は次女が入塾したので、私なりに一応の努力はしてみたのですが、あまり努力が報われたような気はしません。次女のクラスの子どもを家に呼んでも、呼ばれない。誘っても誘われない。これって努力より、私の人間的魅力が不足しているためじゃないかしら? なんて思う今日この頃です。

情報コーナー

★「エポック10まつり」に参加しよう!

豊島区内で活動するグループを中心の活動発表やイベントに、今年も「あんふぁんて」としまが参加します。会場は池袋駅隣接のメトロポリタンプラザ10階「エポック10」。区外の方も気軽に参加しませんか?

(エポック10連絡先 ☎03(5954)1015は、場所の問い合わせにのみ利用可)

①ワークシートと筆で表してみよう今の自分
自分を表現するワークシート。書道の墨と筆を使った簡単なワークシートを行うことで、自分自身を客観的に見ることを学び、新しい自分の発見につなげましょう。

6月12日(土) 午後3時~5時 会議室
講師・岸 (あんふぁんて会員)

②展示「子連れで集まる場所は何処?」
あんふぁんてが活動を始めて30年、安心して子連れで集まれる場所を探すのは本当に大変でした。過去から現在までの子連れミィティングやイベントなどに利用した公共施設や、エポック10などの豊島区の施設を検証することで、本当に子連れで使いやすい施設はどこなのか?と考えます。

6月11日(金)・12日(土)

午前10時~午後5時 ロビー

どちらのイベントも子連れ参加可能です。

参加希望者や企画についての問い合わせは、「あんふぁんて」としま 井上 まで。

☎ FAX

「フリー」というのです。一九八四年にヒューストンという人が論文でこの「ジェンダー」について述べていますが、その論文を一九九五年に東京女性財団(のちに石原都知事の方針で廃止)が紹介し使い始めたことから「ジェンダーフリー」という言葉が広まりました。その言葉にこめられた思いは「性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会をめざそう」という、文字どおり「男女共同参画社会基本法」の精神に則ったもので、立派な英語です。一九九五年の北京女性会議の行動綱領や、二〇〇〇年十二月に閣議決定された男女共同参画基本計画にも「ジェンダー」は使われていました。(厳密には「ジェンダー」であって、「ジェンダーフリー」ではありません。)

ところが、この「ジェンダーフリー」の「フリー」というところが気に入らない考え方の団体がいるらしいのです。「フリーセックス」をすすめる性教育であるのだ、修学旅行での男女同室だの見てきたかのように週刊誌で騒ぎ立て、「男女の性別をなくすことをめざしている」とわざわざ誤用させようとしています。もちろん、その根拠となる事実はどこにもなかったのですが。

一九九九年に成立した「男女共同参画社会基本法」によって、「ジェンダーフリー」という言葉も急速に広まりました。「ジェンダーフリー教育」を掲げた学校現場では、男女混合名簿の導入が進み、小学校では60%、中学校40%、高校50%(二〇〇三年「TVタックル」より)まで広まっています。男女の固定的役割を否定した文言も、各地の男女共同

参画条例に盛りこまれて、次々と制定されていきました。

その風向きが変わってきたのは、二〇〇一年九月に「日本女性の会」(会長・安西愛子元参院議員)が設立された頃からです。二〇〇二年六月制定の山口県宇部市の男女共同参画推進条例には、基本理念に「男女が、男らしさ女らしさを一方的に否定することなく」とかの言葉が挿入されました。その後も少しずつ同様の動きが出てきて、千葉県では二〇〇二年九月に議会に上程予定の条例案に、自民党県連から待ったがかかりました。すったもんだの揚句、四十か所以上の削除、修正したものが二〇〇三年二月に上程されましたが、四月に統一地方選があり、任期満了のため事実上の廃案となりました。唯一の未制定の県になりそうです。

これらのバックラッシュ(揺りもどし)の追い風となったのは、二〇〇二年十一月に男女共同参画担当であった福田元官房長官が「男らしさ女らしさは性別がある限りある」と答弁したこと。二〇〇三年三月に一人はジェンダーフリーという言葉定義を明らかにして使う分には何ら問題ないと言ったものの、二〇〇四年四月には「新たに条例などを制定する場合、あえて使用しない方がよいのではないかと考えております」と内閣府の事務連絡では伝えてあります。まさに、こういうのを「ことば狩り」というのではないのでしょうか。

「ハッシング」の背景とこれから
今年十一月にはアメリカ大統領選挙がありますが、アメリカにおいては妊娠中絶への是非が大きく世論を二分します。それによって性教育への取り組み方も二分されるのです。キリスト教右派の保守派による「結婚まで禁欲のみ」しか教えない教育と、WHOなどが推奨している世界的スタンダードの避妊や人工妊娠中絶も認め教えたりする「包括的性教育」とあります。ブッシュ氏は前者。中絶擁護団体への政府資金援助を切り、中絶禁止法案に署名し、妊婦殺人事件において胎児を人間と規定した連邦法を成立させたのです。それらはネオコン(新保守主義)とブッシュイズムの考え方によります。家族や性に関して道徳主義的で、伝統的保守的価値観への回帰を唱え、国連中心ではなく単独中心的な外交と軍力でイラク戦争をおこしました。

これらアメリカの動きと日本とは関係がないと思いますか? 日本もそっくりではありませんか。日本のネオコンは構造改革急進派といわれる小泉政権そのものです。改憲論議をさかんにおこし、イラクへ自衛隊を送り、教育基本法改正を試み、男らしさ女らしさを復活させ、君が代・日の丸を普及させる。それらにじやまな自立した強く主張する女性やジェンダーフリーは危険な存在で、きつと抗日戦士なのではないでしょうか。あなたは戦う気持ちがありますか?



★子育て広場「トライアル」

日時・7月12日(月) 10時～12時

場所・エポック10保育室&会議室

(池袋駅隣接メトロポリタンプラザ10階)

*子連れの人にはなるべく15分前までに集合。終了後3時までワーク報告と保育引き継ぎ。

Aコース・子どもと一緒に遊ぶ

(いろいろな親子と接してみ、子どもとの関わり方を再発見します)

Bコース・子どもと離れてしゃべりB.A.(場)

(当日の参加者の希望により、テーマを決めて話し合います)

Cコース・子どもを預けてタウンワーク

(子どもと離れてリフレッシュタイム。子連れに優しい街かどうかチェックします)

参加費・一人五百円(資料代・保険料込み)

保育・子ども一人二百円(定員・七名)

持ち物・保育カード、保険証、昼食、子どもの着替え(要記名)など。

*初参加はAコースから。Bコースは大人のみの参加も歓迎。申込は、10日前までに住所・氏名・電話番号・子の氏名・性別・年齢を明記し、事務局へ。

※当日不参加になった場合、エポック10を、通じての伝言はできません。事務局の留守番電話に用件を吹き込んで下さい。

★訂正

四・五月号八頁の さんの原稿中、

保育園で年長時のキャンプの負担を「千五百円」としましたが「一万五千円」の誤りです。

さん、会員の皆さんにお詫びして訂正します。(幼保特集編集担当・今井)

事務局から

●今年の「来期案決定会員交流会」は、8月23日(月)か25日(水)を予定しています。次号で知らせますが、なるべく予定にいらして下さい。

●事務局のスタッフを募集します。誰かの手伝いではなく、中心スタッフとしてあんふぁんての活動紹介や会員からの声を受けとめることができる人。

毎日でも可。時間応相談。ただし交通費のみなので可。

●五月末現在の会員数は240名。

《スケジュールメモ》

7月18日(日) 30周年相談会

(1時から神楽坂・幾代宅)

8月2日(月) 八・九月号発送

(10時半から事務局)

※発送作業は11時～3時くらい。

要連絡、子連れ可、弁当持参で。

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いのまだの人は、至急振込をお願い。
会費が切れても本人からの連絡がないと、退会や休会の措置がとれません。退会・休会や転居の際は、必ず事務局まで連絡ください。

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

事務局までの地図

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千円)以上まとめて、郵便局の振替口座に払い込んで下さい。

第296号 (隔月5日発行)
2004年6月5日発行
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 6・7月合併号

発行人 /
発行所 / あんふぁんて出版部

電話
(☎平日12時～2時それ以外FAX)
定価 / 500円
振替口座 /
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。